

第19期 第5回町田市立図書館協議会次第

■日 時：2022年7月20日（水） 14：00～16：00

■場 所：町田市立中央図書館 6階ホール

■次 第：（括弧内は想定タイムテーブル）

1. 図書館長挨拶（14：00～）
2. 新委員紹介及び自己紹介（～14：10） （資料1）
3. 移動図書館について（14：10～14：40） （資料3－①～3－②）
4. 図書館評価について（14：40～15：10） （資料4－①～4－③）
5. 図書館からの報告事項（15：10～15：45） （資料2－①～2－⑦）
6. その他（15：45～16：00）

【次回開催予定】

- ・日 時：2022年9月28日（水）14：00～16：00
- ・場 所：町田市立中央図書館 6階ホール

第19期 第5回町田市立図書館協議会配布資料一覧

- 資料1 第19期町田市立図書館協議会委員名簿
- 資料2－① 図書館からの報告事項
② 町田市5ヵ年計画22－26（抜粋）
③ 町田駅周辺公共施設再編構想（抜粋）
④ 鶴川図書館の再編について
⑤ 電子書籍サービス（6月補正予算概要抜粋）
⑥－1 デジタルデバイド講座チラシ
⑥－2 free Wi-Fi ポスター
⑦ 鶴川駅前図書館の指定管理者制度導入について
- 資料3－① 移動図書館に関する議論のまとめ方（委員長作成資料）
② 移動図書館サービスに関する検討スケジュールについて
- 資料4－① 図書館評価について
② 2021年度事業実績報告シート
③ 図書館評価取組一覧・担当表(案)

資料 1

第 19 期町田市立図書館協議会委員名簿

選出区分	氏 名	所 属 (役職名等)	任期等
1号 学識経験を有する者	まつもと なおき 松本 直樹	慶應義塾大学 (文学部准教授)	2021年8月1日～ 2023年7月31日
〃	なかむら たくま 仲村 拓真	山口県立大学 (国際文化学部文化創造学科講師)	2021年8月1日～ 2023年7月31日
2号 学校教育の関係者	たかざわ よしゆき 高澤 善幸	町田市公立小学校 長会 (三輪小学校長)	2022年5月13日～ 2023年7月31日
〃	かじの あきのぶ 梶野 明信	町田市公立中学校 長会 (木曾中学校長)	2021年8月1日～ 2023年7月31日
3号 社会教育の関係者	すずき まさよ 鈴木 真佐世	町田の図書館活動をすすめる会	2021年8月1日～ 2023年7月31日
〃	ふくだ ゆみこ 福田 有美子	つるかわ無料塾 結い	2021年8月1日～ 2023年7月31日
〃	さかまき みわこ 坂巻 美和子	NPO法人 まち だ語り手の会	2021年8月1日～ 2023年7月31日
〃	よしだ かずお 吉田 和夫	社会教育委員	2021年8月1日～ 2023年7月31日
〃	ひらた ふくこ 平田 富久子	点訳・宅配ボランティア	2021年8月1日～ 2023年7月31日
4号 家庭教育の向上に資する活動を行う者	わかいろ なおみ 若色 直美	NPO法人 子ども広場あそべこどもたち	2021年8月1日～ 2023年7月31日

図書館からの報告事項

1. 2022年度の図書館の体制について

(1) 役職者の一覧

所属・役職	氏名	備考
図書館長 副館長 担当課長	中嶋 真 竹川 裕之 本郷 剛	
総務係長 担当係長 担当係長	柳下 明 佐藤 孝久 峰岸 学	
企画・地域支援係長 担当係長	中川 慎介 高田 欽哉	
資料管理係長 担当係長	高松 昌司 野口 修子	
中央図書館サービス係長 担当係長 担当係長	海老澤 幸子 新藤 直美 山田 明樹	
さるびあ図書館サービス係長 担当係長 技能主査	町田 永治 菱谷 圭一 遠藤 昌男	移動図書館運転手
鶴川地域図書館サービス係長	芝崎 知子	
金森図書館サービス係長	保科 明雄	
忠生地域図書館サービス係長 担当係長	中村 美栄子 佐藤 卓史	忠生図書館 木曾山崎図書館
堺図書館サービス係長	小林 直貴	

(2) 図書館協議会事務局担当者

総務係 担当係長	峰岸 学 金原 達也	
----------	---------------	--

2. 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う図書館の対応について（2022年1月以降）
 - ・1月19日～3月21日 新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置
 - ・3月22日～5月22日 リバウンド警戒期間
 - ⇒5月23日以降も、利用者には引き続きマスク着用の協力を依頼する他、座席数の削減、パーティションの設置など感染症拡大防止の対策を継続しながら平常通り開館
 - ※5月31日で予約資料カバーの消毒は終了

3. 町田市教育委員会の動向
 - (1) 第2回定例会（5月13日）
 - ・議案第3号 第19期町田市立図書館協議会委員の委嘱 ⇒高澤委員委嘱
 - (2) 第3回定例会（6月9日）
 - ・議案第6号 第6期町田市生涯学習審議会委員の委嘱 ⇒仲村委員委嘱（継続）
 - (3) 2022年度町田市教育委員会の点検及び評価会議（6月24日）

4. 町田市議会の動向
 - (1) 第1回定例会（3月9日～3月30日）
 - ①図書館に関連する議案等
 - ・第7号議案 令和4年度町田市一般会計予算
 - ⇒「新たな図書館づくり推進事業」に鶴川図書館の再編検討に関する予算を計上
 - ②「新たな図書館づくり推進事業」予算に関する質疑（3月17日）
 - ・殿村健一議員
 - (1)事業の目的は何か。(2)事業の内容は何か。(3)事業のスケジュールを問う。
 - ・三遊亭らん丈議員
 - (1)市民協働型の運営と、従来の運営との相違点は何か。
 - (2)企画・運営を担う運営団体と、町田市とは、どのような関係を想定しているのか。
 - ③文教社会常任委員会（3月22日）
 - ・第7号議案（予算）⇒賛成多数 ※3月25日本会議は賛成多数で可決
 - ④一般質問
 - ・田中美穂議員「市民の知る権利を保障する図書館の拡充を求めて」（3月30日）
 - (1)図書館の図書購入費（市民一人当たり）の推移について問う。
 - (2)鶴川図書館、さるびあ図書館を公立図書館として存続すべきだがどうか。
 - (3)小山・小山ヶ丘に図書館を新たに作るべきだがどうか。
 - (2) 第2回定例会（6月2日～6月30日）
 - ①図書館に関連する議案等
 - ・第45号議案 令和4年度町田市一般会計補正予算
 - ⇒「新たな図書館づくり推進事業」に電子書籍サービス導入、デジタルデバインド対応に関する補正予算を計上。都補助金の歳入予算を計上
 - ②文教社会常任委員会（6月15日）
 - ・第45号議案（補正予算）⇒賛成多数 ※6月30日 本会議は賛成多数で可決

5. 各種計画（町田市5ヵ年計画22-26、公共施設再編計画、アクションプランなど）に基づく取組み

～新たに策定された市の計画等での位置付け～

- (1) 町田市5ヵ年計画22-26（2022年3月策定）について【資料2-②】
⇒ 町田市の最上位計画である、町田市基本構想・基本計画「まちだ未来づくりビジョン2040」（2022年3月策定）の実行計画。
図書館に関連する3つの事業が「重点事業プラン」に位置付けられている。
- (2) 町田駅周辺公共施設再編構想（2022年3月策定）について【資料2-③】
⇒ 「町田市公共施設再編計画」に基づく、町田駅周辺エリアの公共施設再編の取組について、めざす姿やスケジュールを5つのプロジェクトにまとめたもの。
図書館関連（中央・あるびあ）はプロジェクトEに位置付けられている。

～具体的な取組状況～

- (3) 鶴川図書館の再編について【資料2-④】
- (4) 電子書籍サービス導入について【資料2-⑤】
- (5) デジタルデバイド事業、フリーWi-Fi導入について【資料2-⑥】
- (6) 鶴川駅前図書館の指定管理者制度導入について【資料2-⑦】
- (7) 「ことばらんどショートショートコンクール2022」について

施策4-1 生涯にわたる学習の「しやすい」を支援する

【施策実現によってなりたい姿】

- いつでもどこでも学習しやすい環境が整い、学びの機会を逃さないようになっています。
- 学びの成果を発信しやすく、受信しやすいようになっています。
- 学習資源のデジタル化が進むことにより、学びにアクセスしやすい環境になっています。



1 学びに出会う機会の充実

2 学習成果をいかす機会の充実

重点事業で 施策を実現

- ・重点事業1 ワタシが主役の図書館づくりの推進
- ・重点事業2 新たな図書館様式の推進
- ・重点事業3 新たな学びの支援

重点事業1 ワタシが主役の図書館づくりの推進 新規

事業概要

- 誰もが安心して過ごせる地域の居場所をつくるため、鶴川図書館をコミュニティ機能を併せ持つ市民協働型の運営へと転換します。
- 市民の読書環境を拡充するため、地域文庫*など読書に関わる団体や個人の取り組みを積極的に支援します。

年度計画(主な活動)	2022	2023	2024	2025	2026	
●鶴川図書館の協働運営						
●読書マップ*の改訂・増刷						
目標指標	現状値	2022	2023	2024	2025	2026
①市民協働運営の施設数	-	-	1ヵ所	-	-	-
②読書普及の取り組み紹介数	19件	25件	28件	31件	34件	37件
事業費概算	110百万円		所管部		生涯学習部	
事業を支える団体等	地域文庫など読書普及活動に関わるグループ					

重点事業2 新たな図書館様式の推進 新規

事業概要

- デジタルサービスに親しみ、暮らしに合わせた図書館サービスを提供するため、図書館へ来館しなくても24時間365日利用することができる電子書籍*サービスを導入します。
- 暮らしの中で本に触れる機会を増やすため、移動図書館車両*を小型化し、運行場所を拡大させます。また、予約資料受渡場所*を新設します。

年度計画(主な活動)	2022	2023	2024	2025	2026	
●電子書籍サービスの導入						
●移動図書館車両の小型化						
●予約資料受渡場所の新設						
目標指標	現状値	2022	2023	2024	2025	2026
①図書館サービスを利用していない市民の割合	51.3% (2017年度)	-	-	-	-	25.0%
②予約資料受渡場所累計施設数	5施設	5施設 (-)	6施設 (1施設/年)	6施設 (-)	6施設 (-)	6施設 (-)
事業費概算	77百万円		所管部		生涯学習部	
事業を支える団体等	地域文庫など読書普及活動に関わるグループ					

重点事業3 新たな学びの支援 新規

事業概要

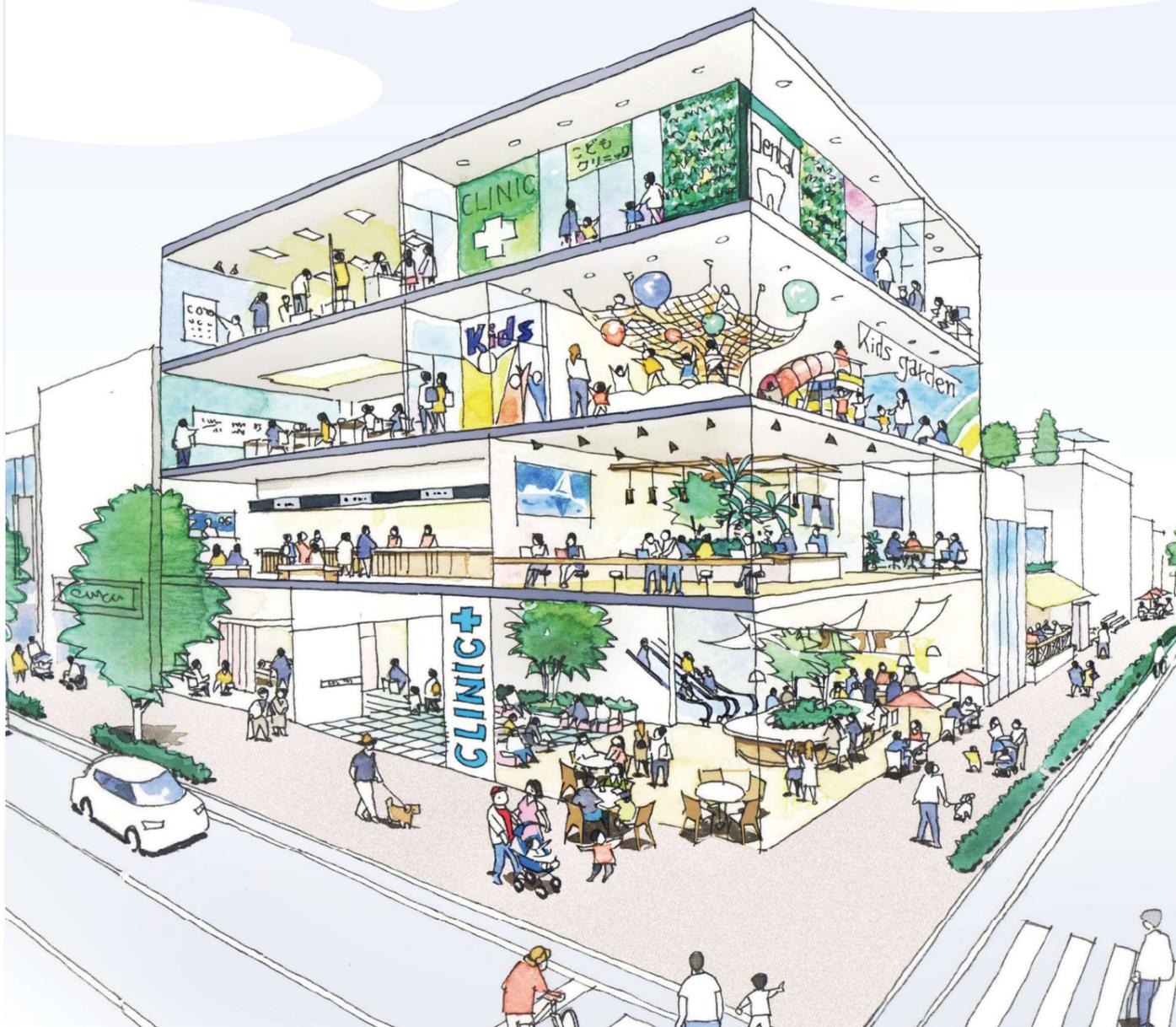
- デジタルデバインド*を解消するため、デジタル初心者向けの体験講座を実施します。
- 新たに生じる社会的課題への対応を学ぶ講座を実施します。

年度計画(主な活動)	2022	2023	2024	2025	2026	
●デジタルを活用した講座						
●社会的課題への対応を学ぶ講座						
目標指標	現状値	2022	2023	2024	2025	2026
①学習成果を今後、いかせると答えた人の割合	-	71%	72%	73%	74%	75%
事業費概算	8百万円		所管部		生涯学習部	
事業を支える団体等	生涯学習センター主催講座修了団体					

町田市

町田駅周辺公共施設 再編構想

- 民間とのコラボレーションによる5つの再編プロジェクト -



2022年3月
町田市

Ⅲ. 町田駅周辺公共施設の再編プロジェクト

町田市では本構想で目指す姿を実現するために、公共施設の集約や複合化等を検討する5つのプロジェクトを進めていきます。各プロジェクトの詳細は10ページ以降に紹介しています。

5つの再編プロジェクト

- プロジェクトA: 2つの美術館と芹ヶ谷公園の一体的整備
- プロジェクトD: 産業支援施設の複合化
- プロジェクトB: 2つの保健施設の集約
- プロジェクトE: 図書館の集約
- プロジェクトC: 教育センターの複合化



●プロジェクトA 2つの美術館と芹ヶ谷公園の一体的整備

詳細は10・11ページ参照

市立博物館の収蔵品の一部や活動を受け継ぐ（仮称）国際工芸美術館を、芹ヶ谷公園、国際版画美術館と一体的に整備します。また、2つの美術館を含む公園全体の一体的な管理運営手法を検討し、事業者を選定します（（仮称）国際工芸美術館は2025年度に、2つの美術館を一体化した美術エリアは2027年度にオープン予定）。

(年度)					
2022	2023	2024	2025	2026	2027
短期再編プロジェクト・本構想					中期再編プロジェクト
管理運営手法検討・事業者選定			（仮称）国際工芸美術館整備工事		オープン
			2つの美術館一体化整備工事		整備完了

詳細は12・13ページ参照

●プロジェクトB 2つの保健施設の集約

健康福祉会館と保健所中町庁舎を集約し、民間とのコラボレーションにより健康福祉会館の現有地に建替えます（2030年度オープン予定）。

(年度)									
2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	
短期再編プロジェクト・本構想					中期再編プロジェクト				
基本計画策定		公募準備		公募・契約	設計・建設工事			オープン	

詳細は14・15ページ参照

●プロジェクトC 教育センターの複合化

教育センターと子ども発達センター、わくわくプラザ町田（シルバー人材センター、老人クラブ連合会の各事務局）を複合化し、民間とのコラボレーションにより建替えます（2028年度オープン予定）。

(年度)						
2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
短期再編プロジェクト・本構想					中期再編プロジェクト	
基本計画策定	公募準備	公募・契約	設計・建設工事		オープン	

詳細は16ページ参照

●プロジェクトD 産業支援施設の複合化

町田新産業創造センター、町田商工会議所、町田市勤労者福祉サービスセンターの産業支援施設を複合化し、町田市の産業振興を牽引する拠点を目指します。施設候補地は、町田新産業創造センターの現有地とします（2028年度オープン予定）。

(年度)						
2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
短期再編プロジェクト・本構想					中期再編プロジェクト	
民間活力導入可能性調査	公募・契約	設計・建設工事			オープン	

詳細は17ページ参照

●プロジェクトE 図書館の集約

中央図書館とさるびあ図書館が持つ機能を整理し集約します。集約方法の検討にあたっては、移動図書館の運行、学校図書館や団体の支援など特徴的な役割・機能に留意します。また、民間活力導入の範囲など、運営のあり方について検討します。

(年度)				
2022	2023	2024	2025	2026
短期再編プロジェクト・本構想				
集約方法検討				集約方法の決定

E 図書館の集約

1 プロジェクト概要

町田市では「あらゆる市民が利用しやすい図書館」、「子どもの読書活動を充実させる図書館」、「地域のコミュニティ形成を支援する図書館」、「地域の課題や社会状況の変化に対応する図書館」の実現を目指す「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」を2020年2月に作成しました。

同プランに基づき、中央図書館とさるびあ図書館の集約に向けた検討を進めます。



さるびあ図書館	中央図書館
<p>地域館の一つであり、1階は図書のフロア、2階は学習もできる読書室になっています。また、移動図書館車2台の基地にもなっています。</p>	<p>ホテル等との複合施設で、建物の4～6階が中央図書館となっています。読書室・集会室・ホール等の施設を備えています。</p>

2 コンセプト

●サービス利用に格差が生じることのない再編の検討

「あらゆる市民にとって利用しやすい図書館」の実現に向け、住む地域や年齢、生活スタイルなどによって利用できる図書館サービスに格差が生じることのない施設再編を検討します。

●図書館がもつ機能や役割の維持と新たな利用者の獲得

「子どもの読書活動を充実させる図書館」、「地域のコミュニティ形成を支援する図書館」の実現に向け、学びの拠点やコミュニティ形成など、貸出以外の機能や役割を維持していくための検討を行います。また、利用者の生活実態や市民ニーズを踏まえてサービス拠点を見直し、新たな利用者の獲得に向けた再編を検討します。

●効率的・効果的な運営体制の検討

「地域の課題や社会状況の変化に対応する図書館」の実現に向け、経費の視点だけでなく、図書館がもつ機能や役割を持続させ、かつ多様化する市民ニーズに対応していくために最適な運営体制やICTの導入を検討します。

●コミュニティの核となる地域住民や利用者との対話

検討にあたっては、施設の利用者や近隣住民と対話の機会を持つことを大切にします。

3 プロジェクト実現に向けた取り組み

町田駅周辺の公共施設の再編や中心市街地の再開発の動きと連動し、最適な集約方法を検討します。集約にあたっては、2つの館の役割・機能を整理し、移動図書館の運行、学校図書館や団体の支援といった特徴的な機能を維持・向上する方策を検討します。

管理運営について、先行して民間活力を導入した、一部の地域館や中央図書館の定型業務の状況や効果を検証したうえで、今後のあり方について検討します。

プロジェクトの効果

集約をきっかけとして、2つの図書館の役割・機能を整理するとともに、今後変化する社会状況に対応するためにデジタル化等を進め、市民が図書に触れる機会や図書を通じた交流の機会を増やし、図書館機能の向上を目指します。

また、集約により建物の総量を圧縮し、維持管理にかかる財政負担を軽減することで、持続可能な図書館運営の実現を目指します。

鶴川図書館の再編について

(1) 事業の背景・目的

「町田市5ヵ年計画 22-26」の重点事業である「ワタシが主役の図書館づくりの推進」の取り組みとして、鶴川図書館を地域と「共に創り」「共に運営する」市民協働型の運営へと再構築するため、以下のように進めていきます。

(2) 支援事業者の決定

2022年5月27日に開催された「鶴川図書館運営計画策定及運営団体結成支援業務委託」第2回プロポーザル評価委員会において、支援事業者が株式会社HITOTOWAに決定しました。

(3) 2022年度の事業内容

① 鶴川図書館運営計画素案の作成

地域住民や活動団体へのヒアリングや2020年度に実施した「鶴川図書館再編後の姿を考える」ワークショップの結果を参考に、鶴川図書館の滞在・交流機能を強化し、継続する図書館機能及び市民による新たな取り組みを整理します。

② 鶴川図書館運営計画の作成

鶴川図書館運営計画素案に対する地域の意見や運営に関心を持つ市民や団体の意見を参考に、継続する図書館機能及び市民による新たな取り組みを整理します。

③ 鶴川図書館の軽微な改修計画の設計

①の取り組みを実現するため、書棚の撤去やベンチの設置など、施設の軽微な改修計画を設計します。

④ 市民参加型プログラムの実施

鶴川図書館運営計画を実現するための試行的な取り組みとして、市民参加型プログラムを3回程度行います。

⑤ 市民が主体の運営団体設立に向けた会議の支援

地域との対話や市民参加型プログラムを踏まえ、運営に関心を持つ市民を母体とした団体の設立を目指します。

(4) 今後のスケジュール

事業内容	2022年度	2023年度	2024年度
市民協働型の運営の構築	地域との対話・協働運営主体への支援		
	運営計画等の作成		
		市民参加型プログラムの実施	
	運営団体設立準備	団体設立	協働運営の部分導入
			協働運営の導入

件名	新たな図書館づくり推進事業（図書館サービスのデジタル化）					
予算額（単位：千円）	財源内訳	国庫支出金	都支出金	市債	その他	一般財源
12,036		0	12,036	0	0	0

【事業の背景・目的】

Ⅱ 部別 6 月補正予算概要説明書 118 ページ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、暮らし方に大きな変化がもたらされ、デジタル化が急速に進展しています。また一方では、デジタル社会の恩恵を受けられない方もおり、市の「e-まち実現プロジェクト」の主旨である市民の利便性の向上を一層促進するため、「デジタルデバイド（情報格差）」の解消に取り組む必要があります。

社会状況の変化に対応し、あらゆる市民が利用しやすい図書館をつくるため、2021 年度に実施した「デジタルを知る」視点での図書館サービス利用支援に続いて、2022 年度は、「デジタルを使う」「デジタルに慣れる」の視点で図書館サービスの利用を支援します。

【事業の内容】

① デジタルデバイドの解消（デジタルを使う）

デジタル端末の基本的な操作などを相談できるデジタル端末操作支援員の配置、デジタル端末を持っていない方に向けたタブレット端末の館内貸出を、中央図書館で実施します。図書館という身近な拠点で、きめ細やかにデジタルデバイド解消の取組を行います。

② 電子書籍サービスの導入（デジタルに慣れる）

デジタルサービスに親しみ、暮らしに合わせた図書館サービスを提供するため、図書館へ来館しなくても 24 時間 365 日利用することができる電子書籍サービスを導入します。多くの方が日常的に利用する図書館サービスの一部をデジタル化し、市民がデジタルサービスに慣れていくことで、他のデジタルサービスの利用にもつなげます。

【スケジュール】

2022 年度	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
① デジタルデバイドの解消	運用検討・調達		タブレット端末の館内貸出開始						
	運用検討・契約		デジタル端末操作支援員の配置開始						
② 電子書籍サービスの導入	事業者決定・構築		電子書籍サービスの開始						

【主な事業費】

① タブレット端末導入委託料	515 千円
① デジタル端末利用支援業務委託料	411 千円
② 電子書籍コンテンツ使用料	9,625 千円
② 電子書籍導入委託料	1,100 千円

【特定財源】

①② 子ども・長寿・居場所区市町村包括補助金（都）	12,036 千円
---------------------------	-----------

問合せ先	生涯学習部 図書館長 中嶋	電話	728-8220
------	---------------	----	----------

スマートフォンを初めて使う方向けの講座です！

はじめてのスマホ体験

① 3月15日(火)

② 3月24日(木)

③ 3月27日(日)

14:00~16:00

(開場13:30)

※各回とも同一内容です

場所： 中央図書館 6階ホール

定員： 各回15名



申込方法・期間

■ Web: イベシス(年中無休 24時間受付) イベントコード: 220302A

■ 電話: 町田市イベントダイヤル ☎042-724-5656
(年中無休 午前7時から午後7時まで)

3月2日(水)から、15日分については13日(日)まで、
24日・27日分については21日(月・祝)まで受付。(※同時申し込みは2名まで)



実際にスマートフォンを触りながら、
スマホ認定講師が楽しく分かりやすく
お教えします。

利用経験、利用機種、携帯会社に関係なくお気軽に参加いただけます。
講座では、おひとり1台スマートフォンをお貸しします。

**※実際の講座は
集合形式で行います。**

問い合わせ

中央図書館 企画・地域支援係

042-728-8220

Machida_City_Library_Wi-Fi

利用できます

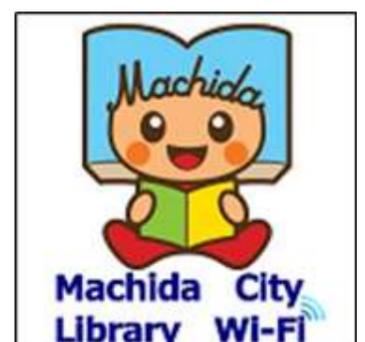
利用場所



注意事項

- 端末（スマートフォン、タブレット、パソコンなど）の貸出はありません。
- パソコンはパソコン席でのみ利用可能です。
- 利用に際しては音声を外に出さないなど、他の利用者に配慮してください。
- 公衆無線 LAN アクセスサービス利用規約に同意しないとご利用できません。
- 図書館におけるインターネット接続の適切な利用を図るため、青少年に有害な情報やゲームなど一部サイトへの接続を制限しています。
- インターネットの利用や Free Wi-Fi の利用に当たっては、必要なセキュリティ対策を講じなければ、通信内容が盗み見られるなどの被害が発生する場合があります。

総務省の『国民のための情報セキュリティサイト』などを
ご参考の上、安全に利用してください。



鶴川駅前図書館の指定管理者制度導入について

(1) 新たなサービスの導入

①開館日数・開館時間が増加

平日 9:30～20:00

4月は開館日3日 63時間拡大

土日祝 9:30～18:00

5月は開館日4日 73時間拡大

(予約受取コーナーは20:00まで)

休館日 第1・第3月曜日(ただし祝日にあたる場合は開館)

②館内 Wi-Fi サービスを開始

③本の除菌機を導入

～今後実施予定～

④開館10周年企画(絵本作家講演会・鶴川駅前図書館の歴史を紙芝居上演等)

⑤えいごのおはなし会

⑥フライヤー導入(話題のビジネス書等の要約が読めるサービス)

(2) 利用状況

来館者数		鶴川駅前図書館		直営館全体	
		来館者数	2019年度比	来館者数	2019年度比
4月	2022年度	24,307	93.8%	101,242	71.4%
	2019年度	25,924		141,792	
5月	2022年度	24,609	89.1%	109,045	72.8%
	2019年度	27,616		149,748	

貸出点数		鶴川駅前図書館		直営館全体	
		貸出冊数	2019年度比	貸出冊数	2019年度比
4月	2022年度	31,818	86.2%	185,821	87.4%
	2019年度	36,932		212,504	
5月	2022年度	32,556	91.3%	187,954	88.3%
	2019年度	35,663		212,806	

(3) モニタリングについて

モニタリングとは、指定管理者により提供される公共サービスの水準を確認し測定する行為。条例や協定書、業務仕様書等で定められた水準に達していないことを確認した場合には、改善等の措置を求めることで施設の適正かつ効果的・効率的な管理が可能となります。

①履行状況、管理運営状況の確認

業務日誌、月報、事業報告書等の確認をします。指定管理者へのヒアリング、実地調査を行います。苦情・要望、非常事態・緊急時の報告内容確認を行います。

※司書率73.9%(現場従事者総数23人 内司書資格保持者17人)

②利用者アンケート実施

「利用者アンケート調査の手引き」に基づき、2022年10月(予定)に利用者アンケートを行います。

③会計経理モニタリング

「会計・経理モニタリングの留意点」に基づき、年度内に1回実施します。

④労働条件モニタリング

指定管理者の従業員の労働条件の適正性を確保し、利用者サービスの向上に資するため、年度内に1回実施します。

⑤市から貸与している備品等の確認

指定管理者に貸与している備品等を物品管理規則に基づき、適正な物品管理を行います。

(4) 管理状況の評価について

文教社会常任委員会の附帯決議をふまえて、現在評価体制、項目を検討中です。

移動図書館に関する議論のまとめ方

1. まとめ方

- ・第18期及び第19期の図書館協議会の議論を基礎に文書としてまとめる。
- ・内容的には第19期の図書館協議会が責任をもつ。

2. 項目案

=====

1. 移動図書館に関わる課題（行政から）

2. これからの移動図書館のあり方

2. 1. 魅力を高めるための方策
2. 2. 出張運行と体験学習
2. 3. 図書館サービス拠点の考え方
2. 4. 学校図書館の地域開放
2. 5. 移動図書館車の大きさ

3. 20年後の移動図書館のあり方

3. 内容

- ・これまでの議論は、委員長が議事録を参考にまとめ（案）を作成する。
- ・まとめ（案）を確認・修正の上、第19期の今後の議論を追記する。
- ・最終的に第19期の終了までにまとめる。

移動図書館サービスに関する検討スケジュールについて

第 19 期図書館協議会での移動図書館に関する検討スケジュールを作成しました。各回において、皆さまからのご意見をいただきたく、よろしくお願いいたします。

今後の検討スケジュールについて（予定）

回数	開催日程	検討事項
第 5 回	2022 年 7 月 20 日	①移動図書館に関する議論のまとめ方 ②今後の検討スケジュール案について
第 6 回	2022 年 9 月 28 日	①移動図書館に関する議論のまとめ案について
第 7 回	2022 年 11 月 22 日	①まとめ案に関する意見について ②移動図書館巡回場所見直し基本方針案について
第 8 回	2023 年 1 月 11 日	①巡回場所見直し基本方針案の意見について ②学校図書館地域開放について
第 9 回	2023 年 2 月 14 日	①学校図書館地域開放の意見について ②議論全体のまとめについて
第 10 回	2023 年度	①最終まとめ案の提示

図書館評価について

1. 図書館評価の概要

町田市立図書館では 2008 年 6 月の図書館法改正を契機として、図書館評価に取り組んでいくこととしました。改正内容に、図書館自身がその運営状況を自己点検し、改善するとともに、関係者へ積極的に情報提供を行う内容が盛り込まれたためです。

2009 年度から 2013 年度の 5 ヶ年を第 1 期の計画期間とし、5 年間で到達すべき目標を設定しました。また、評価項目ごとに単年度の取組目標を毎年度設定し、その達成状況を自己評価することに加えて、外部評価を図書館協議会に依頼するやり方で進めてきました。

2014 年度から 2018 年度の第 2 期図書館評価は、2013 年度に策定した『図書館事業計画』を元に、図書館の事業をよく表している業務と活動指標を選び、毎年の数値結果を確認することとしました。第 1 期と同様に、図書館協議会に外部評価を依頼しました。

2019 年度からの第 3 期図書館評価は、図書館事業計画を『生涯学習推進計画 2019-2023』に組み込んだため、この項目を評価対象としました。教育プランや、図書館のアクションプランともリンクしているため、町田市の図書館が、この数年間で取り組みたい項目が具体的に示されていて、目標設定もされているためです。評価シートは生涯学習推進計画の実績報告シートを活用します。

引き続き図書館協議会による外部評価をお願いいたします。

2. 2021 年度実績の図書館評価の実施概要

○評価項目は全 14 項目（19 指標）あります。

評価項目を 3 グループに分け、各委員がどのグループの評価を行うかを決めます。
（1 グループ 3 人（委員長除く）、4～5 項目担当）

○第 6 回定例会でグループに分かれて各評価項目について担当職員が説明と質疑応答を行います。統計資料等補助資料の提供を行います。

○第 7 回定例会までの期間に、各委員でコメント案を作成していただき、事務局にお送りください。

○第 7 回定例会でグループごとにコメント案の協議・調整時間を設定します。
全体での確認時間を設けます。

○12 月上旬をめぐりにグループのコメント案をまとめていただき、事務局にお送りください。

その後、第 8 回の定例会までの期間に、委員長に取りまとめをお願いいたします。

○第 8 回定例会で外部評価を決定します。

3. 評価スケジュール（案）

	第 19 期図書館協議会	図書館
第 5 回定例会 (7/20)	外部評価の依頼を受ける	外部評価依頼 図書館評価概要説明
		補助資料送付
第 6 回定例会 (9/28)	外部評価の実施 グループに分かれて質疑応答	グループに分かれて評価項目説明
	コメント案作成 事務局へ送付	コメント案の整理
第 7 回定例会 (11/22)	グループ協議・コメント案の調整 全体確認	
	グループコメント案まとめ 事務局へ送付 委員長取りまとめ・総評作成	資料取りまとめ・修正
第 8 回定例会 (1/11)	外部評価の内容決定	
第 9 回定例会 (2/14)	(予備日程)	図書館評価結果の公表

■取組2-3 子ども読書活動の推進【◇】	図書館
-----------------------------	-----

事業概要	生涯にわたって主体的に読書をする習慣を身に付けることができるよう、子ども読書活動の推進に関する全市的な取組をまとめた「第四次町田市子ども読書活動推進計画（2020年度～2024年度）」を策定・推進します。特に、子どもの読書活動に合わせた図書資料の充実とともに、小学校英語の教科化などの動向を踏まえ、外国語の絵本・児童書等を重点的に整備します。				
これまでの取組	第三次町田市子ども読書活動推進計画（2015年度～2019年度）に基づき、庁内各部署で計32の取組を実施するとともに、計画の進捗管理を「子ども読書活動推進計画推進会議」を通じて行っています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①第四次町田市子ども読書活動推進計画の策定		第三次計画に基づく事業の実施	策定完了（2019年度）	
	②外国語の絵本・児童書の蔵書数		3,966冊	6,500冊	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	第四次計画の策定	第四次計画に基づく事業の推進 推進会議を通じた事業の進捗確認の実施			
	外国語の絵本・児童書の計画的購入・活用 利用状況等の検証				利用状況等の検証
年度目標（指標①）	第四次計画の策定完了	事業の推進進捗確認	事業の推進進捗確認	事業の推進進捗確認	事業の推進進捗確認
年度目標（指標②）	4,500冊	5,000冊	5,500冊	6,000冊	6,500冊

＜2021年度の事業実績＞

達成状況（指標①）	B 目標を達成した
取組状況（指標①）	・町田市子ども読書活動推進計画推進会議を開催し、事業の進捗確認を行いました。
達成状況（指標②）	A 計画以上に目標を達成した
取組状況（指標②）	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語児童書の充実にもつたふるさと納税を導入するなどして外国語の絵本・児童書の蔵書数が約6,100冊となり目標値を大きく上回りました。 ・外国語の絵本・児童書を活用するため、英語多読講演会を2回実施しました。また、英語多読を定着させるため、2021年7月に結成された市民による多読サークルの伴走支援を行いました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・町田市子ども読書活動推進計画推進会議について、さらに活発な意見交換ができるよう進行方法について検討する必要があります。 ・「英語多読コーナー」を地域館へ拡大するため、まだ設置していない館の書棚の確保や資料の整備等課題の洗い出しをする必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・「英語多読コーナー」を地域館へ拡大するため、各館の書棚を確保すると共に外国語の絵本・児童書について計画的な購入を継続します。 ・市民による多読サークルを引き続き支援します。

■取組2-4 学校図書館との連携強化【◇】	図書館
------------------------------	-----

事業概要	小・中学校の学校図書館への支援や子どもの読書活動を充実させるために、図書館から学校図書館への貸出のしくみを改善するなど、支援方法を見直して、学校図書館と図書館との連携を強化します。				
これまでの取組	さるびあ図書館を拠点に、「学校図書館支援貸出」（しらべ学習等に対応して、図書館が選書を行って提供する）により、小・中学校の学校図書館へ本を車で配本するサービスを行っています。また、学校図書指導員への研修に協力しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①学校図書館支援貸出利用校数		35校	42校	
	②学校図書館支援貸出数		3,768冊	4,500冊	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	学校図書館支援貸出の実施				
	新たな支援内容の検討	貸出方法等の改善 新たな支援の実施			支援内容の検証
年度目標（指標①）	35校	37校	39校	40校	42校
年度目標（指標②）	3,800冊	4,080冊	4,220冊	4,360冊	4,500冊

<2021年度の事業実績>

達成状況（指標①）	D 目標に達しなかった
取組状況（指標①）	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館支援貸出は、28校が利用しました。新型コロナウイルスの影響により休館・休校、授業編成変更等があり、利用は少なくなりました。 ・教員・図書指導員の研修会では、連携サービスの紹介・利用案内のほか、図書指導員等から要望のあった「図書の選書方法」、「おすすめ本紹介」を講義しました。 ・学校・学校図書館への連携サービス改善のため、調査やヒアリング等の検討・準備をしましたが、実施までには至りませんでした。 ・「テーマ別貸出セット」構築のため、資料を追加購入しました。
達成状況（指標②）	D 目標に達しなかった
取組状況（指標②）	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館支援貸出の冊数は、2,535冊でした。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館とのコミュニケーションを深め、更なるニーズ把握に努める必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館について、調査やヒアリング等を行い、学校ごとの状況を把握し、各学校のニーズにあったサービスの提供に努めます。 ・学校図書館支援貸出、研修会協力、移動図書館訪問サービス、団体貸出資料の配本サービス等を引き続き行い、学校図書館への支援と連携に努めます。

■取組2-5 生涯学習施設の利用促進	文化財係・自由民権資料館・生涯学習センター・図書館・文学館
--------------------	-------------------------------

事業概要	より多くの市民に生涯学習施設を知ってもらい、幅広い世代の利用につながるよう、リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信のほか、各施設の相互PRをはじめ、市内外の各機関と連携したPR活動を進めます。				
これまでの取組	リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信を行っています。				
活動指標	指標	現状値（2017年度）	目標値（2023年度）		
	①連携して行うPR活動件数	4件	10件		
	②SNS発信数	219回	800回		
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					
年度目標（指標①）	5件	6件	7件	8件	10件
年度目標（指標②）	520回	610回	670回	720回	800回

<2021年度の事業実績>

達成状況（指標①）	A 計画以上に目標を達成した
取組状況（指標①）	<p>各施設等において、下記のとおり合計21件の連携PR活動を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財係：文学館、堺市民センターでの出張展示解説（2件）。 ・自由民権資料館：中央図書館での特集コーナー設置（1件）。 ・生涯学習センター：考古資料室と連携によるHP掲載動画の作成、民間HPへの講座情報掲載、人権週間での事業PR、中央図書館での特集コーナー設置、地区協議会と連携しての講座実施、市民センター等でのなんでもスマホ相談室の実施（7件） ・図書館：3R推進課のスケルトンごみ収集車と移動図書館の合同訪問、移動図書館車の保育園、幼稚園、子どもクラブへの出張訪問、移動図書館車の町田シバヒロや大地沢青少年センターでのイベント参加、さがまち学生Clubとの協働による移動図書館のPR動画作成（6件） ・文学館：広報課との連携による「『ポケふた』ミニ展示」、「のりものえほん展」における交通事業推進課との連携によるバスの絵展示及び商店会との連携によるジオラマ展示、町田モディでの出張展示、「ことばらんどショートショートコンクール」における小中学校への出張授業（5件）
達成状況（指標②）	A 計画以上に目標を達成した
取組状況（指標②）	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設等において、施設の開館情報や講座・展覧会・イベント情報など合計2,392件のSNSによる発信を実施しました。 ・文学館ではTwitterで短歌作品の募集を行うなど情報発信に留まらないSNSの新たな活用に取り組みました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントのターゲットそれぞれに効果的なSNSの研究と、発信内容や回数についてさらなる改善が必要です。 ・より多くのフォロワー及び「いいね」やリツイートで表現される反応を獲得できるよう、効果的なツイートの発信内容を検討する必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い世代の利用につながるよう、リーフレットやHP、SNSを利用した情報発信のほか、各施設の相互PRをはじめ、連携施設とのPR活動を検討していきます。 ・動画の活用等、中高生にも親しんでもらえるコンテンツの提供を検討します。 ・HP、Twitterに加え、Instagramの効果的な活用を進めていきます。 ・町田デジタルミュージアムと連携し、発信力を強化します。

■取組2-5 生涯学習施設の利用促進	文化財係・自由民権資料館・ 生涯学習センター・ 図書館・文学館
--------------------	---------------------------------------

事業概要	より多くの市民に生涯学習施設を知ってもらい、幅広い世代の利用につながるよう、リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信のほか、各施設の相互PRをはじめ、市内外の各機関と連携したPR活動を進めます。				
これまでの取組	リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信を行っています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①連携して行うPR活動件数		4件	10件	
	②SNS発信数		219回	800回	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					
	SNSを利用した情報発信				
年度目標 (指標①)	5件	6件	7件	8件	10件
年度目標 (指標②)	520回	610回	670回	720回	800回

<2021年度の事業実績>

実績値 (指標①)	6件
取組状況 (指標①)	<ul style="list-style-type: none"> ・3R推進課と連携し、移動図書館そよかぜ号の巡回場所やせりがや冒険遊び場前へ、スケルトンごみ収集車“みえるくん”と一緒に訪問することで、お互いのPRによるサービス浸透の相乗効果を図りました。 ・保育園、幼稚園へ移動図書館そよかぜ号の出張訪問を行い、園児や先生へ図書の貸し出しをすることで移動図書館をPRしました。 ・小山子どもクラブ「さん」へ移動図書館そよかぜ号の出張訪問を行い、子どもクラブ利用者や近隣の方々へPRを行いました。 ・11月に実施したイベント「星空シバヒロピクニック」において、町田シバヒロに移動図書館そよかぜ号を派遣し、読みたい本を持ってこなくても本が読める環境を提供し、移動図書館をPRしました。 ・大地沢青少年センターイベント「大地沢に行こう！2021秋」へ移動図書館そよかぜ号を派遣し、おはなし会やぬりえコーナーを提供し、PR活動を行いました。 ・さがまちコンソーシアム（さがまち学生Club）と協働して移動図書館のPR動画を作成しました。
実績値 (指標②)	100回
取組状況 (指標②)	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなPR活動として、移動図書館のPR動画を作成し、町田市公式動画チャンネルに公開しました。 ・読書手帳を周知するため、図書館ホームページ内に特設サイトを設け、Twitterでの宣伝を行いました。 ・毎年フォロワー数を増やしており、前年度から267人増加し、1,085人になりました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントのターゲットそれぞれに効果的なSNSの研究と、発信内容や回数についてさらなる改善が必要です。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで以上に生涯学習施設を知ってもらい、幅広い世代の利用につながるよう、リーフレットやホームページ、SNSを利用した情報発信のほか、各施設の相互PRをはじめ、連携施設とのPR活動を検討していきます。 ・動画を作成する等、中高生にも親しんでもらえるようなコンテンツの提供を検討します。

■取組2-6 読書普及事業の充実

図書館

事業概要	インターネットやスマートフォンの普及により、読書量が減っていると言われてい ます。小学生以下の子どもの読書のきっかけとなる事業や、中高生を対象とした図書館 に足を運ぶきっかけとなるイベントを行うなど、18歳以下へ向けた取組を強化しま す。				
これまでの取組	小学1年生を対象に「としょかんいちねんせい*」を実施しました。小学校高学年、 中学生、高校生を対象にPOP（本の紹介カード）を応募する「まちだライブ・ラ リー」を実施しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	18歳以下の方の利用登録 につながる事業数		2事業	4事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	事業の 実施・ 検討	3事業実施		4事業実施	
			事業内容 の検証		事業内容 の検証
年度目標	2事業	3事業	3事業	4事業	4事業

*としょかんいちねんせい：公立小学校の新1年生に引換券（兼・利用登録用紙）を配布し、図書館・
文学館に引換券を持参した児童にカードケースを贈る事業。

<2021年度の事業実績>

達成状況	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	以下の8事業を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・「としょかん1ねんせい」事業では、図書館に登録・更新した505名へミニプレゼントを渡しました。 ・小学生から高校生までを対象に、文学館と共催で「ことばらんどショートショートコンクール」を開催し、939名の応募がありました。関連イベントとして中央図書館で「絵本づくりワークショップ」を開催し、4名の参加がありました。 ・子どもが本に親しむための取り組みのひとつとして、5、6歳から小学校低学年を対象とした「読書手帳」を配布しました。 ・「小学生向け講座～ちよっぴり図書館員になってみよう！」を実施し、13名の参加がありました。 ・YA世代*を対象に、一日図書館員を実施し、4日間で延べ13名の参加がありました。 ・青少年映画会“Yシネマ”を実施し、観客数は18名でしたが、対象年齢層は2名でした。 ・YA世代を対象に謎解きレファレンス講座「まちクエ2021*」を実施し、4名の参加がありました。 ・中央図書館で、土日祝日に中高生向けグループ学習室「わいわいキャレル」を実施しました。103日間で165組の利用がありました。
課題	・中高生のイベント等への参加者数が伸びない事業に関して、開催方式や効果的なPR方法について検討する必要があります。
今後の取組の方向性	・図書館利用の少ない中高生のニーズを把握するため、「町田創造プロジェクト（MSP）」メンバーや子どもセンターの運営委員、読書活動に積極的に取り組む学校、さがまちコンソーシアム（さがまち学生Club）などと意見交換を行う機会をつくり、中高生が図書館事業に参加できる仕組みについて引き続き検討します。

*YA世代：ヤングアダルト世代の略で、中学生から大学生ぐらいの年齢層を想定。

*まちクエ2021：まちだクエストの略。謎解きゲームを通じ図書館内を巡ることで、図書館の基本的な構造や、本を借りるだけではない図書館の便利な使い方を体感してもらうイベント。

■取組2-7 シニア世代向け事業の充実

図書館

事業概要	いつでもだれでも気軽に利用できるという図書館の強みを活かし、地域の図書館で認知症予防の講座を市民と協働して実施するなど、シニア世代が住み慣れた地域でいきいきと健康に暮らしていくための取組を行います。				
これまでの取組	未実施				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	シニア世代を対象とした事業数		未実施	2事業	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	実施検討	1事業実施		2事業実施	
			事業内容の検証		事業内容の検証
年度目標	実施検討	1事業	1事業	2事業	2事業

<2021年度の事業実績>

達成状況	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	<p>以下の3事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ことぶき大学まちだ探・探ゼミナールにおいて、講座「図書館を活用した調べ学習」「著作権/出典・引用の扱い」を中央図書館にて実施しました（生涯学習センターとの共催）。 さるびあ、鶴川駅前、鶴川、木曾山崎、堺の各図書館及び移動図書館にて、シニア世代向け特集や認知症関連図書の特集展示等を行いました。 デジタルデバインド（情報格差）の解消に向けた講習会「はじめてのスマホ体験」を中央図書館で3回実施し、42名の参加がありました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> シニア世代向けの特集展示について、引続き各図書館で実施していく必要があります。 デジタルデバインド講習会は申込受付開始後1時間弱で定員に達するなど、市民の大きな期待が感じられたため、今後も継続していく必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 特集展示について、終了後でも特集資料を知ることができるようにします。 デジタルデバインド講習会について、中央図書館での継続実施に加え、他の地域での展開や参加人数の拡大などを検討します。

■取組2-8 障がい者サービスの充実	図書館
---------------------------	-----

事業概要	通常の活字による読書が困難な人の学びのきっかけとなるよう、マルチメディアDAISY（デイスリー）*の貸出を拡充するなど、より対象者を広げた障がい者サービスを行います。				
これまでの取組	視覚障がいなどで活字を読むことが困難な人、寝たきりなどで図書館への来館が困難な人へのサービスを行っています。さらに、視野狭窄などにより読書が困難な人を対象に、リーディングトラッカー（読書補助具）の貸出を実施しています。				
活動指標	指標			現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
	通常の活字による読書が困難な人を対象とした事業数			1事業	3事業
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	事業の実施・検討	2事業実施		3事業実施	
			事業内容の検証		事業内容の検証
年度目標	1事業	2事業	2事業	3事業	3事業

*マルチメディアDAISY（デイスリー）：音声と一緒に、文字や絵、写真などを見ることができるパソコンで読む本のこと。

<2021年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディアDAISYについて、上映会を開催し、会場でのミニ展示と共にPRを行ったり、若手教員育成研修で資料の紹介と、学校図書館支援貸出でも利用できるように案内しました。 ・2022年3月にボランティア養成講座「テキストDAISY*実習講座」を開催し、テキストDAISY製作を学ぶ機会を設けました。 ・リーディングトラッカーの貸出を含め、実施した事業の合計は3事業となりました。 ・中央図書館特集コーナーで、点字絵本やLLブック、マルチメディアDAISYなど、通常読書が困難な人も利用できる資料の展示やサービスのPRを行いました。 ・新型コロナウイルス対策として、日程や場所の調整を行いながら対面朗読を実施しました。また、宅配サービス、音訳・点訳サービスも、ボランティアの協力のもと実施しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・マルチメディアDAISYをはじめ、障がい者サービスの利用促進に向けて、更なる取り組みを進める必要があります。 ・サービスの大きな部分を担うボランティアの高齢化・減少に対応する必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・展示等を通じて障がい者サービスをPRし、新規利用を促進します。 ・関連団体等とも協力して、ボランティア養成を進めます。

*テキストDAISY：音声データの入っていないパソコンで読む本のこと。再生機等の音声合成機能でテキストを読み上げさせて聞くことができる。

事業概要	町田市の施策や町田市の魅力をより多くの市民にPRするために、図書資料の展示方法やPRを改善しながら、「本の特集コーナー」による情報提供機会の充実を図ります。				
これまでの取組	2015年度から町田市の施策をPRするための「本の特集コーナー」を市の各部署と連携して行っています。市の施策を市民に役立ててもらうとともに、図書館利用者を増やす取り組みのひとつとなっています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	他部署や他機関と連携した「本の特集コーナー」の実施数		19回	33回	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	改善点の洗い出し	改善案の実施	改善点の洗い出し	改善案の実施	改善点の洗い出し
年度目標	19回	26回	26回	33回	33回

<2021年度の事業実績>

達成状況	A 計画以上に目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 他部署や他機関と連携した「本の特集コーナー」を50回実施しました（中央図書館21回、さるびあ図書館2回、金森図書館3回、木曽山崎図書館1回、堺図書館1回、忠生図書館3回、鶴川駅前図書館19回）。 オリンピックの開催に伴い、全館共通テーマで連動した特集コーナーなどの実施を行いました。 「本の特集コーナー」で紹介した図書をリスト化しホームページで公開しました。 「本の特集コーナー」に関連するCDを設置するなど、新しい取り組みを行いました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 他部署と連携したイベントの開催など、更なる相乗効果を生み出すような連携を模索する必要があります。 他部署のSNSによる特集コーナーの周知など、より多くの方に特集コーナーを知ってもらう方法を考える必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の絵本・児童書については、「英語多読コーナー」を設置している中央・鶴川駅前・忠生を中心に約400冊購入し、蔵書数は約6,100冊になりました。 外国語の絵本・児童書を充実させるため、2021年11月からふるさと納税を導入しました。 外国語の絵本・児童書を活用するため、英語多読講演会を2回実施しました。 英語多読を定着させるため、2021年7月に結成された市民による多読サークルの伴走支援を行いました。

■取組3-8 レファレンスサービスの充実	図書館
----------------------	-----

事業概要	市民の調査・研究を援助するレファレンスは、市民一人一人の学びを深めることができる重要なサービスです。求める資料を見つけることができるように、レファレンスサービスの充実に向けて技術の向上を図ります。さらに、レファレンス事例の公開や、インターネット情報にアクセスできる環境を整備します。				
これまでの取組	レファレンス事例をデータ化し、インターネットで公開しました。基本的な資料を案内する「パスファインダー」を作成しました。調べ物に役立つ情報をまとめた「レファレンス通信」を発行しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	レファレンス事例の公開件数		162件	250件	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	年度目標	190件	205件	220件	235件

<2021年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス事例をインターネットで24件公開し、公開件数は延べ258件になりました。 ・国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している「レファレンス協同データベース」にレファレンス事例を23件公開しました。 ・レファレンス事例や資料を紹介する「レファレンス通信」を2回発行しました。 ・職員の技術力向上のため、レファレンスカウンターに入る職員についての研修内容について見直しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス事例については、利用者の調べ物に役立つよう、引き続き幅広い分野について公開していく必要があります。特に町田の地域資料に関する事例の充実が必要です。 ・レファレンスサービスを気軽に利用してもらえるような工夫が必要です。 ・「パスファインダー」については、最新の情報を提供するため定期的に改訂する必要があります。 ・レファレンスサービスの充実には、職員の技術力向上が欠かせず、人材育成が必要です。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、町田の地域資料を中心とした幅広い分野について、レファレンス事例を公開していきます。 ・「レファレンス通信」やイベント等を通じて、利用者に気軽に利用してもらえるような工夫を行います。 ・「パスファインダー」の改訂を行います。 ・レファレンス技術向上のため、都立図書館等の研修に積極的に参加します。

■取組4-3 地域で活動するボランティアの養成・支援【◇】	図書館
--------------------------------------	-----

事業概要	おはなし会などの本にかかわる活動がより活発に行われるよう、地域や学校で活動するボランティアを養成するとともに、ボランティアが行うおはなし会の開催を支援します。				
これまでの取組	各図書館でのおはなし会については、ボランティア入門講座を行っておはなし会の担い手を育成し、職員とボランティアが協力して、おはなし会を実施しています。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	①地域で活動するボランティア向け講座の開催回数		1回	3回	
	②地域で活動するボランティア向け講座への参加者数		26人	90人	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	ボランティア向け講座の実施、内容の検証・改善				
	新たな支援方法の検討		新たな支援の実施		
年度目標 (指標①)	1回	1回	2回	2回	3回
年度目標 (指標②)	30人	30人	60人	60人	90人

<2021年度の事業実績>

達成状況 (指標①)	B 目標を達成した
取組状況 (指標①)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動するボランティア向けの講座を12回開催しました。また、ボランティアの活動の継続に必要なモチベーションや技術の向上を支援することができました。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、おはなし会については感染症対策をしつつ、回数を減らして開催しました。 ・十分に活動できなかったボランティアのフォローを目的に、特に活動歴の浅いボランティアを対象としたスキルアップ研修等を開催しました。 ・読み聞かせに関わる活動をしている保護者やボランティアの技術や意欲の向上のために、感染症対策を講じた上で読み聞かせ講座等を開催しました。
達成状況 (指標②)	B 目標を達成した
取組状況 (指標②)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動するボランティア向けの講座の参加者数は94人でした。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響もあり、各図書館ごとに単独で講座を行う形になりました。町田市の図書館として、年間を通じてどこの館で、どのような内容で講座等を行うのかを設定することが必要と考えます。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・各図書館の担当者と打合せを行い、図書館として全館でどのように実施するのが有効か検討します。 ・実践編を行うことができる図書館を増やすことを検討します。 ・ボランティアの新たな活躍の場について、要望に応じた支援ができるよう、事業の具体化に向けて検討を進めます。

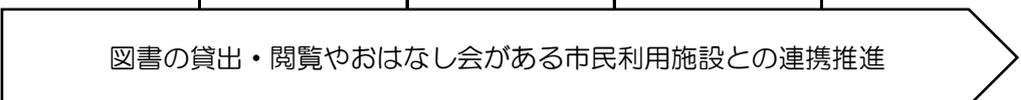
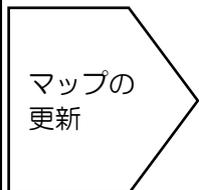
■取組4-7 図書館運営の地域協働化の促進	図書館
------------------------------	-----

事業概要	市民の学習を支える図書館活動を市民参画・協働でこれまで以上に進めることができるよう、図書館で活躍するボランティアの活動分野を拡げていきます。				
これまでの取組	児童サービスの「おはなし会ボランティア」、障がい者サービスの「宅配ボランティア」・「音訳ボランティア」・「点訳ボランティア」・「対面朗読ボランティア」で市民ボランティアが活動しています。				
活動指標	指標			現状値（2017年度）	目標値（2023年度）
	ボランティア活動分野の拡大			5分野	7分野
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	5分野	6分野		7分野	
	拡大に向けた検討				
年度目標	5分野	6分野	6分野	7分野	7分野

<2021年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・以下の6分野でボランティアの活動がありました。 ①「おはなし会ボランティア」 小学生・幼児向け：51回、乳幼児向け：31回開催 ②「宅配ボランティア」宅配件数：396件 ③「音訳ボランティア」音訳資料製作タイトル数：58点 ④「点訳ボランティア」点訳資料製作タイトル数：14点 ⑤「対面朗読ボランティア」対面朗読件数：212件 ⑥「イベントボランティア」：1回開催 ・MSP(町田創造プロジェクト)や図書館実習生からボランティアの活動分野についてヒアリングを行いました。 ・おはなし会や障がい者向けサービス以外の分野でボランティア活動を支援している図書館について研究を行いました。 ・8月に中央図書館で子ども向けイベント「絵本づくりワークショップ」を行い、イベント当日のボランティアとしてMSP(町田創造プロジェクト)から2人が参加し、子どもたちが絵本作成するときのフォローを行っていただきました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアが気軽に自分の個性を生かした内容で参加出来る環境や研修等について検討します。 ・図書館側が役務の分担を期待するようなボランティアだけではなく、イベントの企画など市民が主体的に参画できるようなボランティアを検討する必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動への準備を行ったうえで、イベント補助やイベント企画・運営等の図書館を盛り上げるといった新しい活動分野を開拓します。 ・イベントの企画など市民が主体的に参画できるようなボランティアについて検討します。

■取組5-2 本と出会う場所の創出【◇】	図書館
----------------------	-----

事業概要	町田市には大学図書館や地域文庫、まちライブラリー*など本に触れることができる施設が各地域にあります。これらの施設と図書館が連携して読書活動を推進する取組を進めるとともに、これらの施設の情報を集約した読書マップを作成します。				
これまでの取組	市民が利用可能な大学図書館やおはなし会を実施している団体の情報を収集し、図書館ホームページに掲載しています。				
活動指標	指標	現状値（2017年度）	目標値（2023年度）		
	①読書活動推進にかかる連携施設数	20か所	25か所		
	②読書マップの作成	未実施	作成・公開（2020年度）		
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					
					
年度目標（指標①）	21か所	22か所	23か所	24か所	25か所
年度目標（指標②）	施設の把握	作成・公開	検証	更新	検証

*まちライブラリー：47ページのコラム「まちライブラリーとは？」を参照。

<2021年度の事業実績>

達成状況（指標①）	B 目標を達成した
取組状況（指標①）	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに開設した本と触れ合う施設を訪問し、読書マップの趣旨に賛同していただき、掲載許可をもらいました。 ・これらの取組の結果、読書活動推進にかかる連携施設数は1施設増加し25施設となりました。 ・1冊の絵本を人から人へと旅をさせることで、絵本でつながる新しい地域コミュニティを創造することを目的とした、「まちだ旅する絵本」に協力し、中央図書館での展示とイベントを実施しました。また、大地沢青少年センターへ移動図書館を出張運行し、資料の貸出・閲覧やおはなし会を実施しました。これらの連携した取り組みを実施することで、普段図書館を利用されない方へも本と触れ合う場所の創出をしました。
達成状況（指標②）	B 目標を達成した
取組状況（指標②）	<ul style="list-style-type: none"> ・掲載施設からの依頼に基づき、読書マップHPの内容を更新しました。 ・2022年度に予定している読書マップの更新に向け、想定される掲載箇所数や掲載内容、レイアウトについて検討しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動を推進している連携施設や読書普及活動に取り組んでいる個人や団体と協力した取り組みについて、継続して検討する必要があります。 ・読書マップの内容を充実させるため、継続して情報を収集して増やしていく必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動を推進している連携施設や読書普及活動に取り組んでいる個人や団体と連携したイベント等について幅広く検討します。 ・市民に広く情報を求め、改定版の読書マップを作成します。

■取組5-5 図書館利用者の利便性の向上	図書館
-----------------------------	-----

事業概要	インターネットやスマートフォンの普及、書籍のデジタル化により市民の読書スタイルは多様化しています。図書館に来館しなくても市民が読書をする機会が増えるよう、電子書籍の導入を目指します。				
これまでの取組	未実施				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	電子書籍サービスの導入		未実施	実施	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 先進事例の研究調査・ 補助金の調査・ 民間活力手法導入検討 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 導入のための仕様作成と 実施に向けた準備 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 実施 </div>
年度目標	調査	検討	仕様作成	実施準備	実施

<2021年度の事業実績>

達成状況	C おおむね目標を達成した
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・電子書籍サービス提供を柱とするデジタルデバイス解消事業が東京都の「子供・長寿・居場所区市町村包括補助事業」の補助金交付対象となりました。 ・電子書籍サービスの導入に向け、先行自治体の導入事例の調査を行いました。 ・電子書籍サービスの仕様作成に向け、調査を行いました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・電子書籍サービスの早期導入に向け、仕様を完成させる必要があります。 ・電子書籍サービス導入による新規利用者に加え、従来の利用者にも支持されるような蔵書の構築や、PR事業の実施をする必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・電子書籍サービスの仕様を完成させます。 ・電子書籍サービスのターゲット層を想定し、利用したくなるコンテンツ構成となるような収集方針の作成と、具体的な購入の検討を行います。 ・電子書籍サービスが多くの市民の暮らしに有益である事をアピールする、PR事業の検討を行います。

■取組5-6 地域資料の活用の推進	図書館
--------------------------	-----

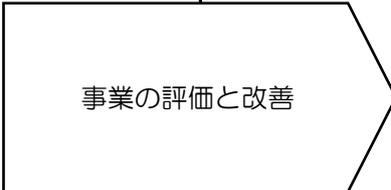
事業概要	現在、紙の媒体で管理されている地域資料は、地域活動を行っていく上で重要な資料です。これらを積極的に活用できるよう、これまで蓄積してきた地域資料のデジタルアーカイブ*化を進めます。				
これまでの取組	未実施				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	地域資料のデジタルアーカイブ化の推進		未実施	実施	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
年度目標	検討	整理	データ作成	データ作成	実施

*デジタルアーカイブ：電子図書館をはじめ、作品、文化財その他の情報をデジタル化して収集・保存・公開する活動や場の総称。

<2021年度の事業実績>

達成状況	D 目標に達しなかった
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・町田市立図書館での地域資料デジタルアーカイブ化の考え方をまとめました。 ・2020年度に公開済みの図書館作成資料の3点に追加する形として、中央図書館開館当時の資料「夢いっぱい」、「町田市立中央図書館」の2点を図書館ホームページに掲載しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化資料の公開方法について、他システムでの公開も含め検討する必要があります。 ・同様の資料を公開する他部署と公開する資料の範囲について調整する必要があります。 ・デジタル化資料に限らず地域資料が広く活用できることをPRし、デジタル化の必要性を周知する必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化資料の公開方法を検討し、決定します。 ・他システムで同様の資料を公開する他部署と調整を行い、図書館が公開する資料の範囲を決定します。またリンクや紹介など、他システムの資料にも容易にアクセスできるよう検討します。 ・地域資料を利用したくなる、有用であることをPR出来るような事業の検討をします。

■取組5-7 市民のニーズに合った図書館事業の実施	図書館
---------------------------	-----

事業概要	図書館全館で利用者アンケート調査を実施し、図書館利用者のニーズを把握して、図書館サービスの改善に役立てます。				
これまでの取組	図書館全館での利用者アンケートを2009年度から3回実施しました。				
活動指標	指標		現状値（2017年度）	目標値（2023年度）	
	図書館利用者アンケートの実施		未実施	実施	
工程表	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					
年度目標	検討	実施	活用	活用	検討

<2021年度の事業実績>

達成状況	B 目標を達成した
取組状況	<p>利用者アンケートの調査結果から、以下の市民ニーズが高いサービスの実施と準備を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月から中央図書館でWi-Fiサービスの提供を東京都の補助金を利用して始めました。 ・2022年度から指定管理者制度を導入する鶴川駅前図書館の開館日時拡大やWi-Fiサービス提供、資料の消毒機設置のための準備を行いました。 ・2022年度から電子書籍サービスを提供する準備を行いました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用者だけでなく、図書館を利用していない市民ニーズも把握する必要があります。 ・開館日時拡大やWi-Fiサービス提供、資料の消毒機設置は一部の図書館に導入するため、中央図書館や地域図書館へのサービス拡大についてはしっかり検証していく必要があります。
今後の取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館を利用していない市民ニーズを把握するため、無作為抽出による市民意識調査を実施していきます。 ・鶴川駅前図書館の指定管理者が毎年実施する利用者アンケートに併せて、図書館全体でも同様に利用者アンケートを実施します。

図書館評価

取組一覧 担当表 (案)

2021年度実績

取組番号	取組名	図書館協議会	図書館
2-3	子ども読書活動の推進	鈴木 吉田 坂巻	企画
2-5	生涯学習施設の利用促進		企画
2-9	図書館資料による情報提供機会の充実		企画
4-7	図書館運営の地域協働化の促進		企画
5-2	本と出会う場所の創出		企画
取組番号	取組名	図書館協議会	図書館
2-6	読書普及事業の充実	梶野 平田 若色	企画・サービス
2-7	シニア世代向け事業の充実		サービス
2-8	障がい者サービスの充実		サービス
3-8	レファレンスサービスの充実		サービス
4-3	地域で活動するボランティアの養成・支援		サービス
取組番号	取組名	図書館協議会	図書館
2-4	学校図書館との連携強化	仲村 福田 高澤	さるびあ
5-5	図書館利用者の利便性の向上		資料管理
5-6	地域資料の活用の推進		資料管理
5-7	市民のニーズに合った図書館事業の実施		総務